

居住者還元 トイレトパー

4月1日から7日まで
(午前10時から午後7時)

4月5日・6日のみ
(午前10時から午後9時)

スーパータジマ店内

居住者の皆さんに「引換券」の入った封筒をお配りします。号棟室番号氏名を記入し期間内に引き換えて下さい(3月27日に一斉配布します。引換券が配布されない場合は自治会に連絡下さい)。
この居住者還元は皆さんに協力していただいている古紙回収・空き缶・ピンの回収等の報奨金で実施しています。今後ともリサイクル活動にご協力下さい。

王子五丁目団地

自治会会報

第214号 2002年3月25日
公団王子五丁目団地自治会
東京都北区王子5丁目2番
編集責任者・木元章喜
発行責任者・丸本秀昭
電話・FAX 3913-6723
[開設時間]月～金(9～12 13～16)
<http://homepage1.nifty.com/ougo/>

団地は春満開

多種の樹木が心和ませる



『岩はしる垂水の上のさわらびの萌出する春になりけるかも』この歌は辺地に流された皇子が都に想いを寄せながら芽吹くわらびを見つけて、春の敏びを表現したものです。春つて楽しくて、うきうきしてとてもすばらしい季節ですが(花粉症の方はちょっとゆうつですね...)今年2月頃から暖かく桜の開花宣言も例年より早く十数センチの桜並木ももう満開!ベランダでお花見してい

る方もいるようです。団地の中にも桜の木が三十本以上あるのをこぼしてしまいました。先日「植物博士」と言われている人と団地中を歩き、桜をはじめ花が咲く木、実のなる木を調べましたのでちょっとお知らせしたいと思います。

1号棟と5号棟の近くには木蓮とこぶしの花が競い合っていて咲き、4号棟のあたりにはかわいいぼけの花。6号棟には清純な雪柳と、私たちの心を和ませてくれます。実のなる木は枇杷、梅、さくらんぼなどもあって、四季折々の季節感を実感できます。桜の花も強風にあおられはじめられています。八重桜はこれから、親子で、またお友達とお花見としやれてみませんか。けっこう気分転換ができるかもしれません。

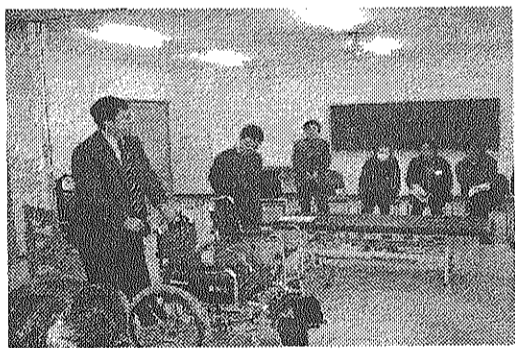
家庭で出来る介護実習

3月9日、「家庭で出来る介護実習」が集会所で社会福祉法人、光照苑の協力を得て、車椅子の取扱方、押し方、ベッドから車椅子への移動の介助など19名が参加しておこなわれました。

つかめていたら、親を介助したときに役立つ「たのび」などの話も出ました。自治会としても今後もこのような介護実習を継続的に開催していく必要性を感じた一日でした。

車椅子の取り扱い方や、段差のあるところの移動や注意点などの説明を聞き、2、3人のグループごとに団地内の、段差のあるところや、坂道を交代で実習しながら回りました。

参加された方の中には、今、家族が車椅子を必要としている方がいて、押し方の要点など真剣に取り組む姿が見られ、当日は少し肌寒い陽気でしたが、集会所に戻った時にはみなさんが汗ばむほどでした。ベッドから車椅子や、ポータブルトイレへの移動では、「もつと早く要領が



ピンクの財布

2月の終わりに6号棟前にお財布が落ちていたと自治会室に届け出がありました。中を確認すると1号棟に住んでいる方のもので、さっそく連絡を取り、無事にその方にお財布は戻りました。拾われた方は、6号棟に最近転居してきた若い女性で、落とした方は団地居住歴25年の高齢の女性です。ぜひ、お礼にと6号棟を訪ねるつもりでしたが、後日、1号棟に招いてお礼の気持ちを伝えその返礼に心温まる手紙が届いたそうです。今後も素敵な交流の予感がする内容だったとか。団地の中ですれ違うことはあっても、見知らぬ他人のまままで終わるはずが、ピンクのお財布のおかげで、かわりあった人たちの心に温かいプレゼントをもらいました。

部屋を移転して25年の重みひしひしと

今年からリニューアルの部屋に移動した。25年間の月日と時の早さに驚いたが、荷物の多さにも重みを感じた。衣類、家具類は処分したが、捨てられないのは写真や手紙類だ。1カ月ごとの赤ちゃんの成長写真、姉や友人との四季折々の手紙などは、私の財産だ。

息子がここ五五団地で成長し、社会人となったので感慨深い。さてリニューアルの効果はキッチンが明るく広くなり、我が家の男性達がお料理を作るようになったこと。一人ひとり手に近所のスーパーの袋など下げてのご帰宅。おでん、肉じゃが、カレーが交互に出てくる。私も人の作ったのはおいしいねと、本引越とともに親離れもいよいよだ。親子の会話も、仕事のはなしなど父親と合うようになり割りこんでこないでとか私が冷たくされる毎日だ。リニューアルになり家賃があがった分ついていけないのは私でした。